

J-29

カジノリゾート計画
軍艦島におけるリゾート施設の提案
Casino Resort
Gunkan Island resort facilities proposed in

佐藤 信治¹ ○福田 雄太²
 Shinji Sato¹, Yuta Fukuda²

Abstract: At present, Japan's economic situation has continued to slump.

Deterioration of employment appear, increases the burden on the public due to aging, recovery of the Japanese economy in the future is only the power of the people to be a difficult situation.

On the other hand, foreign tourists has decreased sharply by the Great East Japan Earthquake. Foreign travelers have come back now, though only gradually. While attention has been gathered from overseas to Japan during the earthquake, want to grow the economy to accept tourists. Therefore, we propose the construction of a new casino in Japan as a tourist destination.

1. はじめに

日本の経済状況は低迷を続けている現状である。雇用の悪化、高齢化などにより国民への負担が大きくなり、今後の日本経済の回復は国民の力のみでは困難な状況であると思われる。一方、東日本大震災により海外からの観光客が急激に減少している。現在、少しずつではあるが外国人旅行者が戻ってきている。今回の震災を期に海外から日本への注目が集まっている中、観光客を積極的に受け入れ経済の成長を望む。そのため新たな観光地としてカジノの建設を提案する。

2. 背景

2-1. カジノの現状

現在カジノは世界 120 カ国以上で合法化されているが、現在日本では賭博行為が禁止されているためカジノは存在しない。しかし、カジノによる税収や経済効果などが期待され、東京都知事や衆議院議員もカジノ設置に賛成する声がある。

2-2. 日本におけるカジノ構想

カジノ導入の理由としては、「新たな税収の確保」「新たな雇用の確保」「新たな観光資源と余暇活動の創造」である。現在、行政でもカジノ導入への関心が高まっており自治体や国がカジノ導入の構想を描いている。日本でのカジノ構想に共通していえることは、カジノに訪れる利用客はホスピタリティを求め、非日常的であることで普段の生活からの解放されたいという願望がある。

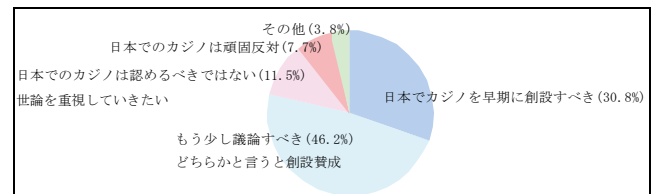


Figure 1. カジノ設置に対する衆議院へのアンケート

2-3. カジノツーリズム

カジノ施設はホテル・ショッピングセンター・劇場・コンベンション施設などを併設した複合リゾート施設として、伝統的なギャンブル顧客のみならず一般的な観光客を取り込むことに成功している。カジノツーリズムとは、このように複合観光施設として高度に発展したカジノを中心として行われる様々な余暇活動のことである。刑法で賭博が禁じられている我が国ではこれまであまり議論に挙げられてこなかったが、カジノツーリズムはエコツーリズムやヘルスツーリズムなどと並ぶ新しい観光として世界に注目される観光産業内の成長分野である。そのため賭博のみを提供するのではなくより複合された MICE 施設として計画する余暇遊興施設でなければならないと考える。

3. 設計趣旨

日本の経済の不況を回復するため、新たな税収が必要とされ国民がお金を使う場所としても新たな施設が必要である。また、海外からの日本への注目と認知に対しても新たな観光産業の設置が必要であると考える。そのため国民の余暇や海外客の新たな日本の観光地としてリゾート施設の設置、経済効果の回

1 : 日本大学・専任講師・海建 Department of Oceanic Architecture & Engineering, CST., Nihon-U.

2 : 日大理工・学部・海建 Department of Oceanic Architecture & Engineering, CST., Nihon-U.

復の高い見込みとしてカジノ施設の建設を提案する。地域が国の支援に頼るものではなく地域が自律的に財源を生み出し地域の経済を支える新しい国家の形を目指す。

4. 計画地

4-1. 計画地区条件

カジノ施設の計画地は以下のことが求められる。

- ・ 住宅地域から一定の距離を保つこと
- ・ 交通のアクセスが良いこと
- ・ 収益を得るための利用客が見込めること

4-2. 敷地

長崎県端島（軍艦島）付近

九州地方で住環境から距離のある無人島である軍艦島はかつて明治・大正・昭和を通して日本の近代工業化を支え続けた島である。現在の閉山された軍艦島は観光地となっており、世界遺産暫定リストにも掲載されているが、高波や台風の影響により軍艦島は日々、風化しており修復工事が行われながら存在している。本計画では現在の私達の生活を作り上げた軍艦島に比例して新たな生活、今の経済状況をサポートする施設としてカジノ施設を計画する。

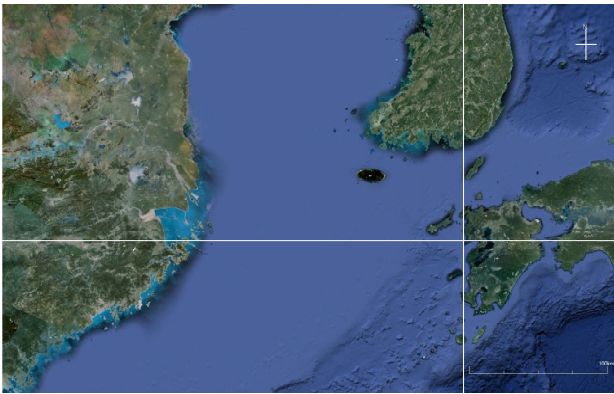


Figure2.計画敷地図

5. 複合施設

1 日の来場者を約 5400 人とし規模を算定した。

カジノ	7210㎡
ホテル	420000㎡
リラクゼーション施設	3000㎡
レストラン	5000㎡
コンベンションセンター	14000㎡
ショッピングセンター	100000㎡
劇場	12000㎡

Figure3.各施設規模算定

6. 構造形式

九州本土から沖合約 20km に位置する軍艦島を背後にするため潮の流れや海洋性帯環境へ考慮し浮体式メガフロートとする。

メガフロートの利点は

- ・ 地震の影響を受け難い
- ・ 自然環境に与える影響がない
- ・ 地盤沈下がおこらない
- ・ 広大な内部空間が使える

6. 配置計画

軍艦島と呼ばれる由縁でもある島を正面から見た時の全景を崩さないために施設を配置する。

人間が一点に対象物を見た時の人間の最大視野角 90 度の特性を使う。

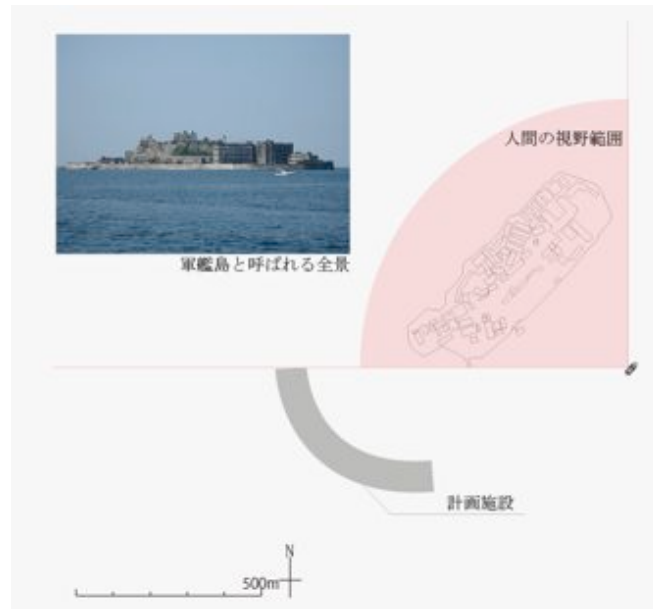


Figure4.視野角による施設配置図

8. 参考文献

- [1] 室伏哲郎：「カジノ新ビジネスが日本を救う」
- [2] 阿久井喜考, 滋賀秀實, 松葉一清：「歴史遺産軍艦島」
- [3] 谷岡一郎：「カジノが日本にできるとき」
- [4] 東京都：「東京都都市型観光資源の調査研究報告書」
- [5] 澤田仁志：「日本カジノ誘致」
- [6] 矢野出版：「カジノ事業と経済波及効果」
- [7] 三田村哲哉：「フランスにおけるカジノの再構築」
- [8] 白井伸和：「カジノ合法による地域経済の有効性」
- [9] 海上技術安全研究所 HP メガフロート研究
- [10] 環境省 HP 気象観測データ
- [11] 財務省 HP 財政の現状と課題
- [12] 国土交通省 HP 総合政策局観光部門